

祝 40周年記念

この時代だからこそ強い絆



札幌国際大学元学長・同短期大学部元学長
小山 忠弘

長寿国世界一を自負してきた我が国が、8月15日現在百歳以上の不明高齢者の数は242人に達っています。とても悲しく信じがたいことですが、血で繋がった家族いふて大丈に強いのは絆とも言えます。我が國が歴史消滅していく現実です。経済大国日本として世界から注目され、お金と物事が豊かなようになったが、人間としての魂（人情と道徳）が貧乏になり、世界の國が嘲笑されているのは、耐え難いことです。

血縁や地縁の絆が衰退してしまった今日、本気で同窓の絆を強めなければ、日本が滅びてしまうという危機感を覚えます。

静華会が設立されて40年。平成22年3月現在の卒業生は、短期大学部2万985名、大学4千794名で、約2万8千名の同窓生が県立っています。静華会の今後の発展のためには、特に支部（東京・大阪・函館・帯広・鶴駒）の同窓生の正確な把握と組織化に努め、支部独自の魅力ある活動活動によって絆を強める事が必要です。

40周年おめでとうございます



札幌国際大学元学長・同短期大学部前学長
村山 紀昭

2年間の短い学長生活でしたが、同窓会の皆さんとは折にふれ、いいおつき合いができる嬉しく思っております。

とにかく、同窓会からの奨学金を直接会長さんから学生本人に渡してもらえたほか嬉しいと、創立内の同窓会の会員で行われた初めての懇親式で、学生たちが緊張の面持ちで、しかししっかりと抱負と感謝を語っていたのが印象的です。

少子化で厳しい環境にある大学にとって、同窓会は大学の最大の理解者であり味方です。大学の方針は、卒業生の実社会での地道な活躍で側面れます。これからも、大学と手を携えて、50周年100周年に向って発展されますようお祈りいたします。

札幌国際大学同窓会静華会
設立四十周年おめでとうございます



静華会前会長 五期 兼見教育学科卒
荒谷 啓 子（旧姓 長谷川）

私が役員になった時は、六階位の狭い同窓会室で、冬はふるえながら作業をした思い出があります。小さな同窓会でも意味があったでした。

十年程前に記念館の二階が同窓会室になり、広いスペースでいろいろなことができるようになりました。学校祭のバザー参加、同窓会の歓迎セミナー、広報誌の発送作業等々。

これからも形を変えながら先輩、後輩方と一緒に持てるところを頑張って、お祝いのメッセージに代えたいと思います。



静華会設立40周年おめでとうございます



静華会会員 一期 幼児教育学科卒
森賀 仁子（旧姓 横）

設立にかかわった一期生の多くは還暦を迎え、若かった40年前に思いを寄せていることと思います。自治体・同窓会と先生方に教えられながらはじまりました。

新米社員は静華会とお前をついたものはどう運営していけばいいのか試行錯誤のままで終わり、受け継いでくれた後輩が、継ぐ続ける会員と共に、しつかり活動する同窓会に変わったことがあります。

短大から女子大・共学の大学とおおきな変化を受けながらの運営、歴代の会長さん・役員の皆様には深く感謝申し上げます。

同窓会はいつも大学と共にあり、一番の応援団です。大学が元気なのが一番!新聞などで大学の名前を見つかると嬉しいです。

同窓会のあみみは大学生活から離れることがなく続いたあみみです。

これからも大学をそして学生たちを支援・応援していく同窓会であり続けましょう。

学生時代の思い出



大学七期 観光学部観光学科卒
上野 陽介

同窓会設立40周年おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

私は1999年共学部の男子学生1期生として、大学へ入学しました。入学理由は「球部を作りたい」ということだけだったので、私の学生時代は常に野球部での活動が中心でした。

入学直後に乳井教授と共に部員集めに奔走したこと、整備前の野球場で練習よりも石拾いの時間費やしたこと、「フレーバーボールで行方不明になった、少ない練習ボールを全員で探したこと」様々な記憶が鮮明に残っています。

中で2001年札幌学生野球連盟へ加盟が認められリーグ戦(3部)へ初参加し、全勝優勝、2部リーグの昇格を果たした時に仲間たちと勝利に歓喜したことは最高の思い出です。

大学を無事に卒業し、現在は母校の事務職員として勤務し、野球部のお手伝いをさせていただいている。時折は比較にならないほど充実した環境で、現役学生たちと共に白球を追いかけています。野球部のOB、OGの方様は是非、野球場へ足を運びください。

今後も同窓生、事務職員として、現役学生のサポートに力を入れていきたいと思います。

同窓会設立四十周年に寄せて



静華会会長 二期 家政学科卒
栗原 恵子（旧姓 後条）

同窓会設立四十周年おめでとうございます。

二期生として又役員をさせて頂いた事もあり、同窓会の歩みは私達の四十年と相応じるものがある様に思います。

「創風」の二階を同窓会の拠点として様々な活動が活発に行われていることは喜ばしい事です。荒谷前会長、柳井会長をはじめ役員幹部の皆様との協力により強固な基盤を作っていましたが、随分と歩んでこれたことは、同窓会として嬉しいと見ています。

縁あって大学、短大の茶道部の指導と短大の茶道の授業を持たせていただいております。明るく伸びて前向きな学生達と接しておりますと大学の諸先生の作り上げてきた良き伝統に頭が下がると思います。

その学生達が卒業後、今後の同窓会を盛り上げていく力になると思うと心強いことです。今後とも同窓会が益々発展されるよう心よりお祈り申し上げます。

本当に大切なことを求めて



夏大26期 生活科学科
住居コース卒
新海 直美

2010年2月「札幌の雑貨とインテリアのお店」（北海道新聞社）を発行、4月に「nest」という設計事務所を設立されました。幼い頃よりお小遣いで雑貨を求めて自分の部屋を飾ったり、厚紙で部屋の模型を作り遊ぶのが好きだったそうです。この事が、本の発行の原点になっているとのこと。進学により、それが「インテリア」という分野であることを知ることになりました。学生時代は中鉢先生・持田先生のもとで、住家に住んでいました。

ろなことを学び、仲間と語り合ったそうです。卒業後は、道庁勤務、東京の設計事務所（障がい者・高齢者のワーム専門）、札幌のリフォーム会社などで経験を生かし、事務所の設立を実現しました。家づくりをする時のアドバイスとしては、解説やティラソップ、ショールームなどを見学し「自分なりの生活スタイル」を見つけておこなうことを、そして、将来必要な「自分で手作りする」などは困ってから取付けるのではなく、段から段からインテリアの一部として取り入れるなど、先を見越した住まいを提供していくのが目標と見受けられます。同窓生の皆さんの中で、新築またはリフォームなどを考えていらっしゃる方は、新海さんに相談してみませんか？きっと、素敵な自分らしい空間を得ができると思います。



学生時代に学んだもの



短大23期 生活科学科
住居コース卒
磯谷 真理

アルバイトしながら現役アシスタントとして活躍されており、忙しい中を歩いて同窓会静華会の役員としても活動していただいています。学生時代は、千葉ゼミに在籍してカラーコーディネーターの資格を取得され、OL時代には独学でアシスタントとして目指す夢を叶えていたそうですが、20代後半、専門的に「アリスト」を学ぼうと一念発起!通信教育の美術学校に進み、胸を磨き無事に卒業されました。東京や札幌で、個展・グループ展

展示活動や企画展に参加され、積極的に自分のオリジナル作品の発表をしています。将来は「アリスト」で生活していく夢で、日々真っ白い紙にペンや絵筆を走らせています。作品として、書籍「CDジャケット・カバー・新聞・本などのアリスト」、アート番組の制作、ウェブサイトの制作等、次次用イラスト製作の手がけられ幅広い活動中です。また、現在アリストをされているお嬢「Pasta Fresca L MELA」（パスタフレッサ・ル・メラ）のロゴやランジェリーetcのイラスト製作に携わり、店舗には作品を展示しています。作風は透明水彩とヘンプを使い、花などの植物、身近な小物や風景などを中心で、日々の小さな幸福またはその逆をも描いて温かく優しい絵を描いています。作品はどれもが優しく、心がほと温まるくなるものばかりです。

今は、11月に行う40周年記念祝賀会へ一駆~で出席していただいた方にお渡しするポストカードの製作をされているとのこと。楽しみにしていま

